

神戸百店会だより



★サロン・ド・コウベで 毛皮モードショー

「ベニー毛皮店」の「若いマダムとマドモアゼルのための」毛皮モードショーがニューポート・ホテルの大ホールで開かれた。

「今年は、エリ、マフラーにあきたらないおしゃれな神戸の子の皆様に、と、中広くお召し頂きたいと、数多くのコートをデザイン



毛皮モードショー風景

してみました。これから毛皮は羽織る時代になりましようね」と、デザイナーの井口良子さんは語っている。

「乙女の祈り」のピアノ曲ののってくりひろげられる豪華な毛皮の数々。「女らしさと気品あふれるこのチンチラコートのお値段は三百六十万円」のアナウンス

に大きなためいきがあふれ「ロマンティックな白いシートのこのコートは二万八千円」のアナウンスに「安いね、これくらいなら」との若い女性のささやき声が聞かれた。

はなやかにライトに照らし出される毛皮は、女性のおこがれであり、彼女達を魅了して放さなかった。

★ユーハイム・コンフェクトにレストラン誕生



試食会スナップ

・コンファクト」の三階サロンドイッチパーラーが新しくレストランとしてお目見えした。明るい店内は、グリーン系で統一され、落着いた雰囲気。

十月二十四日オープン。それに先だち、試食会が開かれ、席上には、桂小春団治、海の女王らの顔も見られた。

ウエイトレスのサービスも暖かく、それに、野菜サラダ二〇〇円、スパゲティ二〇〇円と値段も手頃で、家族づれや、オフィス帰りのレディ達に最適の語らい場所となるだろう。デザートにはミックス・フルーツ・フルーツをお勧めする。甘さをセーブした味は格別。

★サノへのコレクション会

洋品雑貨の「サノヘ」がおしゃれなオータムに、そしてモードのウインターにさがけて10月17、18日の両日、オリエンタルホテル2階菊・竹の間で「ハンドバッグと舶来雑貨コレクション」の展示即売会を開いた。

今年も高級婦人もの、紳士ものほか、装飾品、コヒーヒー・セツトなど、モードのバリをはじめ世界各地より素晴らしい高級舶来品を一堂に集め、来場のお客を喜ばせた。



並んだ各国の高級品

★ショップ・トビックス

★元町通二丁目の寿本舗元町店の山側の店が防災ビル建築のための退き、同店にあった喫茶室が浜側の店に移転しました。新しい「コトブキ喫茶室」は11月2日に開店。ビルの詳細についてはまだ計画の段階だが、ビルが完成するまで仮店舗として営業することになっていきます。

店の電話も〇三三六に統一されました。

★今年もオリエンタル・ホテルのクリスマス・パーティが開かれます。21には「六甲クリスマス・パーティ」、22日は「お子様クリスマス」、23日は「クリスマス・パーティ」、24日は「クリスマス・パーティ」とバラエティに富んだ企画です。楽しいクリスマスをお過ごし下さい。

★センター街とトア・ロードの「マクク」ではこの冬から流行する若い人むけ男ものベンチ・ウオーマー、ランチ・コートを豊富にとり揃えております。生地は裏にはコットン・スウェード、表にはボアをつかっているので軽くて暖かく、手軽に着られる。見た目にもフレッシュで、したが装束でも寒さを感じさせない。色はベージュ・モスグリーン、カラシなど茶系統が主で軽やかさに加えておつききもたせています。

★「UCC上島珈琲社」直営の「UCC上島珈琲ショップ」が名店デパート二階に11月3日、新開店しました。さんかのかの「UCC上島珈琲ショップ」の姉妹店で、案内のデザイン、装飾もさんかか店を参考にし、高級ムードをかもしだしています。

名店デパートは板宿商店街、山陽電鉄板宿駅北五十メートル。板宿にできた本格的な高級喫茶「上島珈琲ショップ」をお引き立てください。

神 戸 遊 戯 誌 63

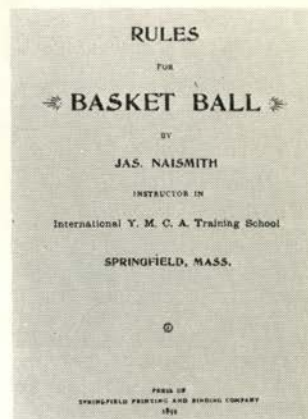
★大正初期は和服でタスキがけ

バスケットボールがはじめて行なわれたのは一八九二年（明治二十五年）のことで、アメリカ東部マサチューセッツ州のスプリングフィールドYMCA体育館（のちにスプリングフィールド大学）においてであった。創案者はジェームス・ギュリック博士で、同氏が「アメリカはスポーツの国でありながら、その多くは渡来の競技で世界に自慢できるようなスポーツをもっていない。また夜間や冬期室内で楽しめるスポーツがない」と述べたこ

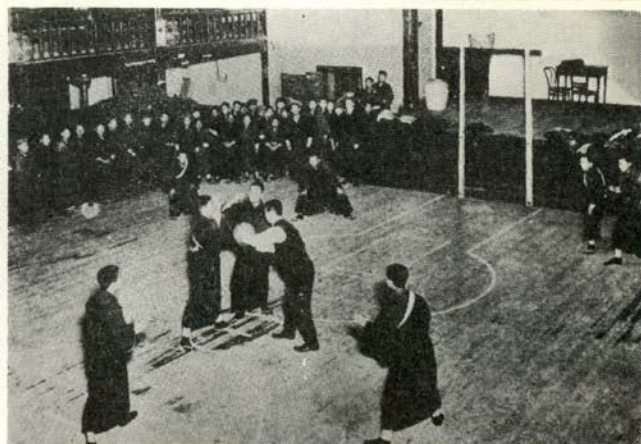


写真上は、1923年、大阪で行なわれた極東選手権大会での中国対日本。

写真下は、1892年に発行されたジェームス・ネイスミス氏によるバスケットボール・ルールブック。



写真右は、大正初期のバスケットボール。和服にタスキがけ、草履はきというスタイルであった。



とから刺激されて、ジェームス・ネイスミス氏が創案した新競技がバスケットボールだったといわれている。同氏はまず従来のスポーツのうちから室内に利用できるものを考えようとして、フットボールに着目し、この競技からボールを持って走ることを禁じたら、粗暴なプレーもなくなるのではないかということを思いつき、さらにゴールを地上から離れた空間に設けることが競技をより室内向きにするという結論のもとに、一八九一年の暮れから実施にとりかかり、翌年一月二十日モモ（桃）の空からサッカー用ボールによる新競技がデビューした。空

バスケットボール（1） 青木重雄

カゴの利用からその名もバスケットボールと命名された

また、わが国のバスケットボール界の功労者の一人で元YMCA主事の宮田守衛氏の話によると、バスケットボールが考えられた最初のヒントはアメリカのカレッジの学生たちが帽子の投げ合いをすることからで、帽子の奪い合いをボールに変えたら面白からうと思ったのがそもその手がかりだったらしい。しかしその頃は完全なルールというものがなかったところを、宮田氏よりスプリングフィールド・カレッジで二年先輩のウィルバメサー氏が、卒業論文にバスケットのことを書いてから組織だったルールとなり、氏はこの功績で学校から表彰されたりした。そして明治四十二年にルールブックができ、翌年にガイドブックが登場した。宮田氏は明治四十四年アメリカから帰国してバスケットボールの紹介を始めたわけだが、この頃スプリングフィールドには日本人が六十名ほどいて、ニューイングランドのほとんどの学校に日本人がいたといわれている。

なお、この競技がはじめてわが国に伝えられたのは明治四十一年（一九〇八年）大森兵蔵氏がスプリングフィールド大学を卒業し、帰国してからのことだが、日本で一番最初に行なわれたのはこの競技の普及と密接な関係をもつ東京YMCA室内体育館においてだった。同年神田美土代町における敷地にまずオープン・コートが作られて、バスケットボール、バレーボール、ハンドボールの施設が生まれたが、大森氏の帰国をチャンスにさっそく同氏にこの方面の仕事が依頼され、同氏はアメリカから来た名誉主事デービス氏と協力、ようやくバスケットボール開始の準備が成った。最初はYMCAの会員の間で練習が行なわれたが、大森氏は目白の日本女子大にも関係していたので、女子にもこの競技を指導した。これがわが国におけるバスケットボールの始まりである。しかしせっかくこのようにしてまかれた種も、これをつちかう人の少ないところへ、大森氏が明治四十五年ストックホルムで開かれた第五回オリンピック大会参加の帰途

アメリカで客死したことなどもあって、その後しりすばみの形となり、ついに中絶のありさまとなった。

ついでわが国に当時斜陽のバスケットボールに新しい種子をまいたのはアメリカ人F・H・ブラウンである。同氏は大正三年来日、まず神戸YMCAにこの競技を伝え、熱心に指導した。その前年の一月十二日に神戸の下山手通り六丁目の電車通り山側に赤レンガの洋風の建物で建った。当時としてはもの珍しさも手伝って人々をアッといわせたものだが、これがYMCAである。大東亜戦争で不幸にも戦災で焼かれてしまい、現在の中山手二丁目に再建されているが、このYMCAがレイメイ期日本の文化、学術、スポーツに果たしてきた役割りと功績はじつに大きい。当時宮田氏が神戸YMCAの体育主事だったのでブラウン氏と協力して大いにバスケットボールの普及に努力した。ブラウン氏も宮田氏もその後東京YMCAへ移ったが、ブラウン氏の功績に対しては後年政府から夫妻に対して勲二、三等の称号が授与され、先の東京オリンピック大会の時には招待して大阪で大歓迎会が催されたほどだった。

最初はYMCA中心にやっていたが、つづいて神戸市内の各中学、さらに女学校、社会人へとひろまり盛んになっていった。なかでも神戸一、二中、市立第一女（上林英太先生）、県立第一女（岡重三先生）、第一銀行、三井物産、スタンダードなどのチームづくりが早く、活躍した。中華人の中華V隊も強かったし、同隊やKRAC（神戸外人クラブチーム）との試合もよく開かれた。当時は九人制だったが（後年五人制へ）、面白いのは最初の頃着物にタスキがけ、ゾウリはきという姿で試合が行なわれたわけで、ただタスキを赤白にわけて両チームを区別していた。着物に代わってランニングシャツが着られるようになったのはその後何年かしてからだが、元町通りの丸善へ作りに行ったもので、普通十五銭のシャツが一円もしたので、選手たちは宝物扱いにしたものだった。

*

マダム・ド・コウベ ⑪

中崎初子さん

竹田洋太郎

*

*

*

*

神戸は三宮、大丸のちよつと北あたりに小山があったいまの日東館近くではないかと思う。

その小山の麓から小さい谷をわけ入ると、ちよつとした平地があった植木の鉢などならんでいる。どうしてこんなところに山があったのかと思われるだろうが、実はこれ戦災を受けた建物の残骸をまとめたもので、終戦後いつになったらこの山がなくなるかと考えていた。

その谷間の平地に、まあ当時としては小ぎれいなバラック。そして、たしかロウケツ染かなにかのノレンがかかっていて、「くれない」という店である。私はそこでお好み焼きをたべ酒を飲んだ。といっても、たびたびいったわけではない。ここは朝日新聞の記者がいつもタムロしており、私としては、ここで酒を飲むなど、敵中横断三百里の覚悟が必要だった——といえば大袈裟になるが。

それが「くれない」の第一期。昭和二十五年五月から三十年まで。そして第三期は現在のところ、つまり生田新道「ぶーげん」というバーの二階にあることは多くの人がご存知だが、それでもときどき、どこだったかしらと迷う店だ。

この女主人が中崎初子さんだ。この店がなぜ神戸で有名かという点に理由はない。

中年の男性によって、現在いちばん求められているのは「おふくろの味」である。だが求めてもなかなか得られない。家庭では奥さんがフライパンか中華鍋に油を入れて、なにもかもザーツ、バリバリといためてしまつてこれが料理というわけだ。ちよつとした季節の魚の焼き物や煮付け、めた、こういったものがまずタイミングよ

く家庭の食卓にならばいい。そこで、夕刻ともなれば、あるいは少々きこめしたうえて、おふくろの味を求めて「くれない」へやってくる。

中年の男性ばかりじゃない。若い女性は、おにぎりやおじやなど、食欲を満足させるだけでなく、気どらなくともいたべものを好むものである。またその若い女性に気に入らなれたいという若い男性、もしくは中年男性が女性をつれてやってくる、というわけで「おふくろの味」はすごい魅力を持っている。

そういう店は、最初からつくろうと思つてもできるものじゃない。中崎さんが例の第一期バラック当時、腹をへらした新聞記者たちにせがまれて、作つてみたおにぎり、おじやが「えらいうまいやないか」てなことて自然発生し、メニューとし、定着したというところだろう。

ああ、食い物の話を書きだすとキリがないのが私の悪いくせ。問題は中崎さんという一人の女性のことなのである。

代々が京滋地方で古いうなぎやさんの店だから、食い物商売の素人ではない。といつても、結婚し、家庭の主婦として満州へ行った。ご主人は満州航空につとめていたから、内地の安サラーマンから見れば結構な生活だったろう。

しかし敗戦でえらいことになってしまった。ご主人はソ連軍からチョットコイと引っぱられたまま別れ、ご自身は幼な子二人と、その上おなかの中にもう一人かかえ頭を丸坊主にして逃避行を続けた。といつても、こういう苦勞は彼女の口の端にチラリと出るだけ。色白の京美人というのは昔からシンが強いとされているが、それは

ともかく、さまざまな苦労はぐっとのみ込んでいるようである。

というのは、終戦時の苦労にもまして、ある不幸が中崎さんを見舞った。ここに書いて再び思い出させるのは罪なことと知りつつも、やはり書いておきたいのは、たった一人生き残った息子さんが成人し、ニュースカメラマンとして活躍しはじめて間もなく、飛行機事故で殉職をとげたことだ。それまで中崎さんは、「くれない」のカウンターの中央にまるで戦艦三笠の艦橋に立つ東郷連合艦隊司令長官のごとく店をにらんでいたのだが、悲しみをおさえかねて、料理場にはいつてしまった。

「包丁をにぎるなりして、なにか思ってたありません」

そういった気持だったのだ。

「おふくろの味には涙の味も含まれているものだ」と昔からいうが、まあ、こういった冗談も許していただきたい。一つの店の経営者として、いまは強く生きておられるから。

私、近ごろ回顧趣味が出てきた。年のせいだと思っても中崎さんと話していると、つい昔の話が出てくる。といっても戦後の神戸のことだ。大丸前の小山もそうだが、ことに生田新道、あれを「オレゴン・アベニュー」と呼んだことを知っている人があろうか。あの生田筋も変わった。しかし、中崎さんは全く変わらない。美人はトクである。

△写真は、中崎初子さん▽



今年も楽しい^{イブ}聖夜に



★洋菓子の

ヒロタ

クリスマスケーキ

元町店 三宮店 さんちか店 秀品店
33-2340 32-1227 39-3474 23-2312



呉井保藏

みよーや

神戸店 大丸 前

電話神戸 ③三三四八番(代)

大阪店 阪神百貨店三階

電話大阪 ③九五八四番

姫路店やまとやしき百貨店四階
電話姫路 ③一二二一番



婦人公論 講演会の後で

さる10月16日国際会館で婦人公論の講演会が開かれた。講師の井上靖氏、司馬遼太郎氏が、講演後、北野町のコラ
ルキタノで、地元の竹中郁、足立巻一、陳舜臣氏と集った。ブランディーを片手に文壇酒徒番附横綱の風格を見せる
井上氏は終始にこやか。話は神戸から長崎、大阪へと進み、町の歴史を語り合うという、めずらしい顔ぶれのなごや
かなひとときだった。＜左より竹中・井上・陳・司馬・足立各氏＞

車座の個展開かれる ▶

今年も津高和一画伯の庭で、「対話のため
の作品展」が、10月26～11月3日までの9日
間開かれた。

「今年はある標的に焦点を絞り——見えない
標的を——射ちました」と津高画伯の言葉の
ごとく、120号の絵から、小さな絵、信楽陶
板まで、的をねらう画伯の気あいと気魄が感
じられる。初日は恒例のオープニング。小春
日和に杯をかたむけ、作品との対話に日没ま
で270人が集った。赤根和生、木村重信、村
松寛、陳舜臣、足立巻一、港野喜代子、河村
立司、泉茂、シト・コールマン、福田紀一、
藤井源一、鈴木正夫、大野倭高、日高テル、
十河巖、久我五千男、妹尾太郎各氏などの顔
ぶれがみられた。



●最終回ごーるでん・たいむ●

スカトロジストと画家

山田 稔

〈京都大学助教授〉

織田正吉

〈放送作家〉

きき手
向井修二

〈画家〉



右より織田正吉氏・山田稔氏・向井修二氏（キャンティにて）

スカトロジイの権威者山田稔氏（京大

教養部助教授）と、織田正吉氏（放送作

家）に今回はご登場願った。山田氏は、

知る人ぞ知る『バイキング』という同人

誌に、氏の数多い経験を克明に、かつ繊

細に糞尿譚のことを連載大好評、一冊の

本にまとめた。今年、山田氏は『幸福へ

のパスポート』で芥川賞候補に選ばれた

新人作家。織田正吉氏は、NHK土曜昼

席など売れっ子の作者としてわれわれを

楽しませてくれる。『笑話の時代』など

ユニークな本も刊行されている。

多くの今までのスカトロジイの知識は

お二人の前では、ハカナクトビッチテシ

マイ、カグワシキニオイだけが残った。

お二人が一番困られることは、子供さん

が、突然大きな声でババゆすりのうんこ

の話をするのを、どうとめていいかわか

らないことだそう。

△向井▽

スカトロジアのユーモア

★山田先生が「スカトロジア」△糞尿譚Vをお書きになったのはいつごろからですか。

山田 最初に「バイキング」に書いたのが昭和三十八、九年の十二月号だったと記憶しています。それから五、六回続けて、一時中断して最後に手術の話で終わりました。

織田 連載中から評判はよかったんでしょう。

山田 ああいった話はみんな喜びますね。

織田 喜ぶけれど、みんな一度は顔をしかめますね。

★落語ではああいった話は一番げすっぽいとされていますね。

織田 公共の場ではタブーとされていますが、やはりテレビなんかで、おなら、うんこ、おしっこの話がでるとお客は喜びますよ。げすっぽさというのはいのちの強烈な要素で、小噺なんかによく排泄のはなしがあります。

★親が子供に便所から出たら手を洗えという。子供は、自分の体から出たもんがなんで汚ないんやという。

山田 そういう理屈からいえば便所に入る前に手を洗った方が合理的だといえますね（笑）

織田 小噺にあるんですが、昔、ある屋敷に下男がいて便所へいっても手を洗わない。そしてある日下男が便所から出て手を洗ってるのを見て主人が尋ねた。なぜ今日にかぎって手を洗うのかと。下男がいうには、いつもは紙を使ってているが、今日は使わなかったから（笑）

★三年前に、僕が東京近代美術館でうんこを出品したことがあるんです。便器を買ってきてアトリエでうんこをして、それを乾燥させてプラスチックで固めたものなんです。全体をブルーに塗ってナイフとフォークを添えて出品したんですが、大へんなセンセーションを呼びました。その作品を買いたいという外人がいたらしい（笑）その時のざまあみやがれという快感はこたえられないですね。そういったホンモノを使った実験をどんどんやるべきですよ。

織田 びっくりおもちやで、カレーを盛ってランチとかかずにウンチとかいたのがあります（笑）

★この頃はゲテ趣味ばやりで学生がパーティなんかで便器でカレーを食べたり、ビールを飲んだりやっていますが、こういったことは文化の発展過程と関係があるんですか。

山田 やっぱ現状に不満をもってるんでしょうね。セックスというのは再生産でしょう。うんこもこやしになるけれど（笑）あれは老廃物で完全な否定性なんです。つまり、破壊衝動と結びつきやすいですね。外国なんかではそうですね。ひとは文学にでてくる糞尿のイメージがそれです。もうひとつはそうじゃなくてルネサンス的なもので、自然の欲求は健康なものであるとするものもあります。近代になると人間憎悪、破壊衝動的な人間はみんなうんこの海におぼれてしまえといふかなり異常なものも生まれてきました。

★野ツボにはまって口にうんこをくわえてでてるはなしもあります。

織田 そこまでいくとむしろ悲惨な感じがしますね。

山田 しかし、どんなに悲惨でも、その中に今はやりのブラックユーモアがある。

★僕らも友人とおならは燃えるかという実験をやったことがある（笑）火のついたマッチがお尻に挟まったりして大へんだったんですが、燃えませんでしたよ（笑）

織田 中学の先生で屁ばっかり研究している人がいます。

★プラスチックのケースの中に汚物を蓄めてうじ虫を繁殖させて喜ぶる人もいます。何かわかるような気がしますね。

山田 僕が「バイキング」に書いていた時に四国の人から手紙がきたことがあります。手紙には、あなたのは文学的なものに過ぎん。非常に不満だ。私はもっと実践家で実際になめたりする（笑）

あなたはそんなことをするか、と書いてある。ちょっとこれはおかしいなと思って「バイキング」
 同人の精神科の先生にきいてみると、おかしな異
 物愛好家というのがやっぱりいるらしい(笑)

★この間テレビで、どこかで水道の蛇口をひねると汚物がでてきたらしい(笑)これはバキューム
 カーが間違っていて汚物を貯水池へ流し込んだらしい
 ですね(笑)僕の仲間がハブニングで最後の幕に
 観客にむかって汚物を撒きちらそうかといっ
 けど、それはちょっと異常やね。こういうことは
 へたをすれば異常につながる。ストレスのところ
 で楽しむのがいいますね。

織田 一本線をひいて、その中で楽しむも
 ね。線を越せばユーモアでもなんでもなくなる。

うんこ型とセックス型

★うんこの話をして合う人と合わない人がいる。

山田 そうそう。僕は単純にうんこ型とセックス
 型とに分けていますが、だいたいわかりますよ。

医学には素人だけれど、内臓が健康な人とそうで
 ない人に分かれますね。胃腸が丈夫で便通など順
 調であればうんこのことなんか気にしない(笑)

織田 僕は昭和六年生まれで、育ちざかりの時に
 菜っ葉ばかり食べたのでうんこというのは青い
 もんやと思っていた(笑)海草を食べると黒いの
 が出る。それで黄いろいうんこなんかでたことが
 ない。焼け出されて、ある中学に泊まった時に軍
 隊が炊き出してくれて腹いっぱい飯を食った。そ
 の時にはじめて黄いろいうんこがでてピラミッド型
 にたった(笑)その時の、悲しい話だけれどほ
 ののとした香りが忘れられない(笑)学生時代
 は痔で悩まされ、毎日便をみながら生活してい
 たんです。僕の生活では食べるということが非常
 に大きかったですね。最近の小説は殆んどセックス

で占められています、小説も食欲をテーマにす
 ればいいんですがね。切実感がありますから。

★うんこの堅さと健康度のバランスは関係がある
 んでしょか。腰かけ便所でするところとした
 うんこになる。日本式のしゃがみ便所は伸びて
 てくる。腰かけ便所はどうもした気がしない(笑)

山田 フロイド心理学におもしろいのがありま
 す。いわゆる肛門期に、親が幼児に便のことをき
 つくしつくと漏らしたらあかと我慢する。た
 めているうちに肛門期性欲が固定してくる。フロ
 イドの説明によれば、そういう人は大人になっ
 てから便秘症になり、ケチになるといいます。お
 金を蓄めるといいうんことをためることに結
 びつけて。たしかにうんこは金色をしている(笑)
 そのような人はひとつのパーソナリティの型とし
 て几帳面で清潔家であるとか、節約、儉約型であ
 るとフロイド一流の理論で説明しています。

★何となくあてはまる感じがしますね。

織田 女性に便秘の人が多いのもケチやからで
 すね(笑)

山田 女の人は何でもためるのが好きです。から
 ★ある女性の便秘手術している時に、医者がガラ
 ス棒ではじくり出していたら、何かの拍子にバ
 ーと吹き出して医者白衣が茶色になったとい
 う話を聞いたことがある。その時、その女性はど
 な表情をしていたでしょうね(笑……)

うんこは宇宙食になるか!?

★うんこのいい方にもいろいろありますね。

山田 僕は本には徹底的にうんこという呼び方を
 通した。クソだと軽蔑してかかっている(笑)う
 ンこだと親しみがもてる(笑)「こ」がつくとかわ
 いい感じがする(笑)

★尻をふくのは前からか後からかときかれると、

ちよつととまどいますね。

織田 僕もきかれましたが、最初わかりませんでした(笑) 女の人は大腸菌が入るので前からは駄目だそうですね(笑)

山田 日本人は糞尿に関しては寛大だが、西洋人なら普段は喋べらない。日本映画ではそんなシーンがよくあるし、観客自身が糞尿的である(笑) 町にもかおりが漂っているし(笑) 日本の農業で糞尿を肥料として使ったことと繋がっているんでよね。

織田 クロレラで再生して、また食べるようにする研究をやっているらしいですね。

山田 東京にその研究をしている博士がいるらしい。世界的な権威ということですよ(笑)

★宇宙食として使えるんじゃないですか。

織田 この間のアポロ衛星の乗組員も小便の半分はもってかえて研究材料にするらしい。半分は宇宙に流す。公害宇宙におよぶ(笑)

日本人の生活が糞尿と切り離せないということが大きいですね。だんだん西欧的になってくればタブーが厳しくなってくるんじゃないか。神話の御代からその話がある。「古事記」にもイザナギノミコトのうんことしっこからハニヤスの神が生まれましたとありますね。このハニヤスの神というのは肥料のことだと思うのですが。

山田 便所の中に神さんがいるから、つばを吐いてはいかんということわざがありますね。

織田 便所でつばを吐いてはいかんというのは便所の神さんがハゲで、右手でうんこ、左手でしっこを処理するつばが禿げた頭にかかるからだという話がある(笑)

★インドでは人の便を処理してお金をもらう人がいるそうですね。

織田 ウン賃ですね(笑)

文学とウンこ

山田 戦後は武田泰淳の作品で、文化人とされている主人公がウンこを掘んだ手で恋人を抱いたり高見順の小説ではビルマで自分のたれた大便にうじがわいてるのを思い出したりする。そんな作品もでてきましたね。自分を排泄物に同化しようというある種のマゾヒズム的衝動に結びつくような**織田** 人間の弱さを客観的にみられる。人間の弱さの典型ですね。

山田 松本清張の無宿人別帳のなかのリンチにも見える。茶碗にウンコを盛って箸もつけてさあ食べ(笑)

織田 あのリンチはなまなましいですね。外国文学ではランチャーなんかの作品はケツサクですね。電柱のようなウンこをしたり、自分の小便に溺れたり(笑)

★田中コクゾウという人が馬場さんのところへ養子にいく話があったんですが、ババコクゾウじゃ無理だということで破談になった(笑) ほんとうにあった話なんです、名前だけでもおもしろいのがありますね。

ニューヨークの下水道は大へんな費用がかかって、地上のビルよりも地下の下水道の方が高くていたという話もある。ニューヨークの下水には何か変な動物がいるらしいですね。見た人もいないし、とにかく、光も入らないし、人間の目のとどくところじゃないですからね。それに食べ物はこまらないうし(笑)

織田 深海魚みたいなもんですね。そんな伝説をつくったおもしろいですね。

山田 谷崎潤一郎や桑原武夫先生、平賀源内の作品を読んでいるとウンこが日本文化論の特殊な領域を占めていることがわかります(笑) それだけ

にとどまらず外国文学にたくさんある。だから全人類的なスケールで会合を開いてもいいですね。

織田 うんこ学会でもつくらなくては(笑)

山田 九大の数学者から猛烈な体験談をファンレターとして送ってくれましたよ。九大のお医者さんにもファンがいるらしい。好きな人は全面的な支持者ですよ(笑)

★それも学問的になると逆に論理的になって精神がちがってきますね。

山田 か、わやひとつにしても学問的にひとつのジャンルになっているので、それを学問的に説明すればおもしろくないです。

フランスのビデというのはいいですね。ビデを使うと痔なんかにはならないですよ。

織田 ほかにもその秘法を教えて感謝されたことがある。使ったのは簡易ビデですが、これを使うと血管が収縮してあとが清潔になる。

山田 いろいろな方法がありますね。ぬるま湯を使ったり、塩を混ぜたりして。

織田 水上勉方式はそれです。

山田 ビデというのは一種の快楽ですよ(笑) 水と湯が出て、好きな温度で流して腰かける。

織田 紙でふくとうしても残るのでふいたうちにははいらない(笑)

山田 ビデは便器に似ているので、日本人はついうっかりそこにうんこをする(笑) 僕の友人がそこでうんこをやったんだけど、流れないんですよ(笑) マッチの軸で切りきざんで、夜中の二時頃までかかった(笑) 小便だったら流れるけど(笑)

スカトロジア国際シンポジウムを開こう!

★オロナイン軟膏から痔の薬のコマーシャルを頼まれたんですが、なかなか難かしいもんでね。

山田 女のコのでてくるの、ヘモリンドですか。

あれを見るたびにその女のコがかわいそうになるいかにも連想させる顔ですから(笑)

織田 便秘かどうか知らないけれど、やっぱりそんな気がしますね(笑)

★あれだけは表現のしようがないですね。

山田 痔の薬は人を脅かすようないい方をする。あなたは自分のおなかの内部をみたことがありましかという具合に(笑) 自分で見た人はおらんでしょうね(笑)

★三人でもこれだけ話題があるんですから、そろそろ学会でもつくってスカトロジア運動をおこしたいですね

山田 すでに僕が「バイキング」に書いている時から全国から支持者が名のりでできたもんね

織田 神戸からおこしたんですね。

山田 九州と京都には拠点もできています

★最初は地方から始めて全国的なものに拡大していく。シンポジウムを開いて情報交換をすればおもしろい話がでてくるでしょうね。

山田 すでに自から私はスカトロジア左派だと宣言する人もいろいろいますから(笑)

織田 もう派閥ができたんですか(笑) しかし、この運動をぜひともやりとげたいですね。いずれ国際シンポジウムを開くようにしたいもんです。



生けるものの普遍と実存の証しであるこの崇高なスカトロジア現象に興味をもたれる方に、山田稔著「スカトロジア糞尿譚」(未来社刊 380円)をおすすめします。

●●● うまいもんシーズンはスカイサントリーで ●●●

忘年会、新年会のご予約はお早目に!!
予約受付中



一品料理、日本酒も準備いたしております

飲みほうだい (サントリー純生ビール クラウン・コーラ) + 食べほうだい! <北欧風ヴァイキング料理> 1,200円<飲食税120円別>



なごやかな
ムード
すばらしい
眺望!

三宮交通センタービル9階 TEL ㊟3705~6

スカイサントリー



酒徒

酒徒を泣かせる

コクのある酒

大黒正宗

お歳暮に

ご贈答にどうぞ

清酒
大黒正宗

神戸の街にまた一つ
名物が加わりました

山形は家族的な雰囲気と
なごやかなサービスで
愛されたいと思っております



焼鳥 量めし
山形



三宮神社東路入る
TEL 33-5979
32-2417

STAND BAR

グラムール

生田筋・岸ビル地階 TEL <33>4637

DRINKING



スタンド

勢津

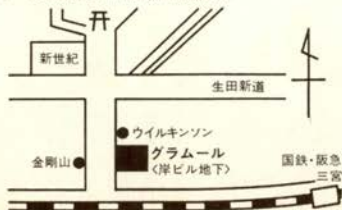
生田東門筋ゼウス街 TEL <39>0516



生田筋はネオンと車の洪水だ。人は憩いを求めて地下に潜る。人の佇む間をぬって岸ビルの地階へ。グラムールの大理石と宝石のようなランプが歓迎してくれる。洒落た名前はフランスの香水から取ったもの。

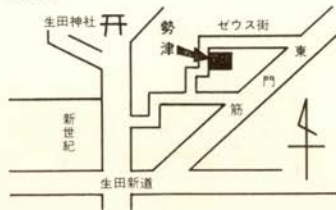
10年米の親友という柴田千鶴子、新谷悦子の二人のママが、あなたも親友してくれる。腫のキラッと光る千鶴子さん、黒のスーツが似合う悦子さん。大理石とガラスの輝きが、ママの話を魅力的にする。

テレビがあるのも珍しい。ボックス席もあり、広々として気持ち良いと、東京・大阪からのお客さんが喜ぶとのこと。家庭料理に心掛ける。雰囲気は、お客さんが作ってくれるの、というのも、中年のお客が多いからかもしれない。ビール250円。日曜祭日は休み。



流しのギターに合わせてオールドファンおなじみの歌から、最近流行のポピュラーソングまで、共に声をそろえて歌い、大いに杯を飲み交わす。飲む程に酔う程に楽しくなる……。そんな気さくな店である。

今年の九月に満七周年を迎えた勢津は、2日間、こまかぶり飲み放題のパーティーをやったが、この店の雰囲気、飾りっ気のない姉御肌の美人ママの成せる技。ところが、この大のお酒好きの生粋の神戸っ子ママ持病の神経痛がたたり、目下通院中で、三年間ママの片腕として活躍してきた、しっかりものの和ちゃんが代理ママ。加えてこの頃グッと女っぽくなったと評判の彼女、「へんな男にだまされはしないかと心配だね」といいながらもママさんは、店を和ちゃんに一任。家庭料理(200~300円)が業しめ、値段も手頃(ビール大300円)。樽出しのマス酒が楽しめるのも良い。



ポケットジャーナル

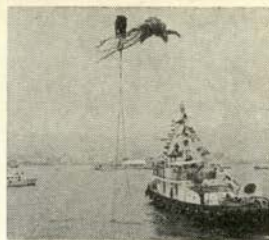


★ポートアイランド

盛大な起工式

十月九日、中曽根運輸相原口神戸市長ら関係者約八百人出席のもと、ポートアイランドの起工式がおこなわれた。午前十時から新港第四突堤先端埋立地で修ばつ式、同時四十分からクレーン船「鉄拐号」上で定礎式をおこなって工事の安全を祈った。ただし、定礎式で海中に沈められた定礎石も、置かれる場所が未定のため、いったん引き上げで当分は保管されることになっている。

ポートアイランドは面積



ポートアイランド起工式

四百十五万平方メートルでほぼ生田区に相当し、コンテナ専用埠頭六バース、一般船用埠頭二十六バースなど港湾関係諸設備のほか、高層住宅、ホテルなども建れられる、さながら海上都市である。

すでに工事は四十一年度からはじまっております、護岸工事、埋立ても順調にすすんでいる。ポートアイランドと市街地とは第四突堤の延長部分から長さ二百メートルデッキ上下それぞれ四車線、計八車線の「神戸大橋」で結ぶことになっており、「神戸大橋」の工事もすでににはじまっております。

総事業費一、二〇〇億円にもおよぶこの大事業が完了する昭和五十年には、神戸沖に大人島が出現し名実共に世界の神戸港になる

★第一回ロード会展開く

トアロード画廊が、十一月一日〜十五日まで、第一回ロード会展開を開いた。今



第1回ロード会展メンバー

回は、東京、名古屋、神戸で活躍する芸大出身のメンバー、小松崎邦雄、笠井誠守雄、松本宏各氏の作品がそろい、充実した展覧会。画商の石橋氏を初めてとしてこのメンバーの特色は、昭和ヒトケタ5年〜10年の世代つまり第一次世界大戦派（疎開児童世代）ともいえる人々たちであることだ。

画廊内に、この世代の人たちの絵がならぶと、非常に用心深く、模索し、考えに進む人間性が、画面ににじんでいる。一見明るい絵にも、深さためらいがあるようだ。「この世代はともて皆仲が良いですよ。戦中派のように無気力ではないが、今の世代のように突進することもない。絵を描いても何をしても形にならないビジョンをそれぞれが持っていて進んでる。安っぽいところで手は握りたくないです」と進藤蕃氏は語る。同世代の画家の絵としてみればまた違った面白味がある。

誕生日
ありがとう
運動



「誕生日ありがとう運動」とは百名中三〜四名は必ず生まれ持っている精神薄弱児（ちえおくれの子たち）に「正しい理解と愛情を」をモットーにはじまった社会啓蒙運動です。

映画

「夜明け前のこどもたち」

近江学園などの設立者である大木会で作られたわが国で最初のこ身障害児療育映画「夜明け前のこどもたち」をJ・O・C（カトリック青年労働者連盟）と本運動の共催で上映しますので友人知己をお誘い合せの上で観てください。
・日時 十二月八日（日）午後一時
・ところ 神戸中山手カトリック教会（市電中山手一丁目電停北五十路）
・入場整理費 二百五十円

この運動への献金の方法は、一〇〇円を住所氏名、生年月日を書き添えて事務局へ郵送してください。また、古切手集めにも協力ください。

事務局 神戸市青丘区小野柄通二ノ五 青陽養護学校内
誕生日ありがとう運動事務局
電話 一五五九

★しやれたホールでのジャズパーティー



ラジオでのジャズパーティー

ジャズというものは、本来的に人間の詩情の発露であり、存在の確認であるのに、コンサート・ホールで固い椅子にシートとして座っているのは、むしろ苦痛だ。そこで、グラスを傾け大いにダベって、ジャズを聞くだけでなく、そのフィリリングに参加して末らおうと、音楽評論家・木玄光氏がジャズ・パーティーを企画した。

10月27日、日曜の夜、三々五々ラジオ関西OCRホールに集った一六〇人。音響効果のよい、ナイトクラブ的な雰囲気の中で、会場はリズム感で息詰まる。舞台では、ヤマハ・ライトミュージック・コンサートの関西四国代表となったラポーズ、ブルグラス・トラベーズ、フラット・ファイブが熱演する。ラポーズのコミカルなテーマソングに歓声が湧く。会場で飲んでいた、小曽根実氏、中川宗和氏が拍手にむかえられて舞台上に演奏するという、実に楽しいジャズパーティーであった。なお、ラポーズは、11月3日、東京での全国大会で、フォー

クの部第一位という期待通りの成績を収めた。末広光夫氏の話では、第二回目を12月15日(日)、四時八時に計画、音楽ファンの参加が期待される。

★日本の古典美を現代モードに表現

マーガレット洋装店のデザイナー・藤本ハルミさんが十一月一日に神戸オリエンタルホテル菊と竹の間で、明治百年を記念して「日本の古典美を探る」というテーマで「藤本ハルミ・モード・コレクション」を開いた。黒亀甲西陣織の丸帯でイヴニングドレス、古代朱色手織紬のアンサンブルに胸



ショー風景

に銀糸で紋章を入れたものやカスリのコート。銀ねずみ米織のパンタロンドレスなど26点が紹介され、日本美をどう現代に調和させるかという課題を華麗なモードの中に表現したユニークなショーになった。

外国モードの直輸入もいるが、こうした日本人独自のモードを創ることも大切だ。「二千年の遺産の伝統の重みは一朝一夕に手におえるものではないけれど、明治百年の現時点で、文化遺産の立派さを見つめ

なおし、現代に生かして行く努力を重ねることこそ、次の世代へのかけ橋としての使命でもある」と思います」と藤本さんは語る。この一度の試みに終らず、神戸の町から日本美をモードに生かす流行が生まれるのも面白いのではないかと。

★文芸雑誌「原人」創刊される



原人

人」が今年の八月号を創刊号として明石にうぶ声をあげた。「原人」の名は明石原人から由来するものだが、会員のみんなが原始人のように素朴な気持ちで作品をつくらうということからこの名がついたもの。

この「原人」は五十数年前、三木露風や若山牧水の師でもある尾上芝舟によってつくられた「水瓶」を母胎として派生したもので、会員制になっている。百五十人の会員はその殆どが「水瓶」の同人、社友だそう。発行者である木村栄次さんは「費用の関係で隔月発行になり、ページも薄いが、歌だけにきざりず文芸全般をあつかってゆとりのある雑誌にしていきたい」と語っていた。

★陳舜臣著

「紅蓮亭の狂女」 発刊「オール読物」でカラー

★ドライバーメモ タイヤのナットのゆるみ

川口陽之
(自動車評論家)



車が前を向いて走ると、左側(助手席側)のタイヤは左回り(右側(運転席側)のタイヤは右回り)する。当りまえのことである。その車輪を止めているネジは通常は右回りで(時計の針の進む方向)締まるようになっていて、そのため、右側(運転席側)の車輪のナットは、走れば走ると強く締まっていく。それに反して左側(助手席側)のナットは、走れば走るとゆるんでくることになる。そのため、ある国産メーカーの車は、右側の車輪を止めるネジを「逆ねじ」(左回りで締まっていくようにしたものを)にしているものもある。ところが「逆ねじ」になっていることが判りにくいので、タイヤがパンクして、スベヤーと交換する際、左に回わしてゆるめようとして、かえって締めてしまっただけで、ボルトをぶち切ってしまう弊害が出た。そのような理由から、最近の車は、左側の車輪のネジは、すべて普通ネジになってしまった。

パンクして、タイヤ交換をする際、右側のタイヤのネジはあまり強く締めなくても、ゆるんだくないで、左側のタイヤのネジは、うんと強く締めおかないと、ナットがゆるんでしまう。

とはいっても、乗用車のタイヤのネジは、あまり太いものを使っているないので、ホイールレンチというスパナに、長い鉄管などを差し込んで、ぐいぐい締める必要はない。

かよいい女性ドライバー以外、補助の鉄管などを使わないことである。ホイールボルトをぶち切ってしまうことになる。

さし絵小説にもなった話題作「紅蓮亭の狂女」が講談社から発刊された。



紅蓮亭の狂女

ほかに、中国近代文学史上名高い抗日作家郁達夫失踪の真相を、日本人と中国人の深いつながりを通じて見事に描きあげた傑作「スマトラに沈む」など力作短編六編を収録したもので、大河歴史小説「阿片戦争」につづき陳舜臣の筆致は冴える。(定価四二〇円)

★昭和四十七年に待望の楠公さん鎮座百年祭

神戸っ子になじみ深い湊川神社は、昭和四十七年に

鎮座百年祭を迎える。

明治維新が成った日、明治天皇が、楠正成を「真に千歳に一人、臣子の龜鑑」と讃えて、明治元年に神社創祀を沙汰されたもので、完成は明治五年五月二十四日。湊川神社は明治天皇が名附親。代々の天皇の参拝と、戦前の皇国思想もあって、崇敬参拝者も非常に多かった。昭和二十七年戦災にあったが復興し現在にいたっている。

鎮座百年祭を五年後にひかえて、湊川神社では、「大楠公敬慕の精神をひろめることは、日本国家の精神の独立にもつながることです」と奉賛会をつくり、意気さかん。名誉総裁には高松宮、副会長には石坂泰三市川忍、砂野仁氏が、顧問には、北白川祥子、鹿島守之助、岡澤、平泉澄、今東

★江戸っ子談志の神戸初独演会

売れっ子の立川談志が、神戸で初の独演会、立川談志ひとり会を、12月20日午後6時30分から、ラジオ関西ホールで開く。

1部は、談志交遊録(漫談)談志料理教室(お題断)2部現代落語 平家物語 古典落語 芝 浜 濱 プログラム。談志ファンにとっては、のがせぬ好機 三百人の小ホールだからお申込みを早く。(一六〇〇円)

「花時計」



神戸の特色とは何か

関西を支える力、中心は京都・大阪・神戸の三都市である。

「オール関西」十二月号では、関西パワーを特集しているが、ここでは、

京都・大阪・神戸がそれぞれ個性をもっている点を強調していて、それが東京を中心にした首都圏との大きな相違点だとしている。また、東京集中の文化では日本は成長しない。当然、東京と京阪神の二眼レフ文化でなければならぬと主張している。

しかし、関西の中心であるこの三都市がそれぞれ個性を生かしながら有機的に繋がらなければ本当の意味の関西パワーは生れてこないとしている。

それぞれ特色のある都市がどんなに繋がるか、疑問だと思われるが、やはり二眼レフとして役割を果たすためにはどうして出ないし、未来を考えれば結合は当然のことといってもいい。

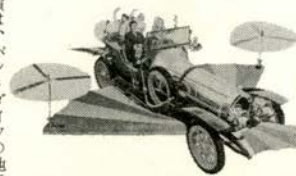
この場合、神戸はいつもすぐれたパイオニア精神を発揮し未来への触角を研ぎすましておかないと、神戸の個性が消えてしまふ恐れなしとはいえないだろう。(Y)

★クウベ

ムービー・コーナー

「チキ・チキ・バン・バン」

少し頭のおかしいと思われる、夢見のような発明家のボッツ(デイク・バン・ダイク)は危うくジャンク屋の解体炉へ放り込まれようとしていたボンコツ自動車のチキ・チキ・バン・バンをもらい受け、一生懸命手を加えて、オンボロ車を走らせることに成功するところがこのチキ号は、意外な魔力を持った車だった。突然ホーバークラフトに早変わりして波の上を滑るように走りはじめたり、翼とプロペラを車体から突き出し、空中高く舞い上ったりの奇想天外な威力を発揮しての大活躍。「007」のスタックが極彩色の夢をのせ大画面に爆発させた、ファンタジックな大冒険映画。



出演は、バン・ダイクの他にブロードウェイのミュージカルスターとして活躍していたサリ・ア・ン・ホウズがヒロインに抜擢されライフ・ネル・ジェフリーズ、ゲルト・フレイベ、ジェームズ・ロバートソン・ジャステス、ロバート・ヘルプマンなどのベテランが顔をそろえている。

十二月十八日より、新聞会館大劇場にて、ロードショー公開。
・毎月応募ハガキの中から抽選で十名様を試写会にご招待します。

忘年会

幹事様へ

御苦勞様です

貴方の黒字も私の赤字も

三味に合せて

はい、はい、はい、

忘年会はやつぱり

量の上で……。

御予算通り致します

早くお申込み下さい

一〇八、二〇八、三〇八

四〇八、一〇〇人で

一部屋でございます

リンゴ酢と蜂蜜で

腕をふるった

新しい「味」

このおいしさが

美容と健康にプラスします

神戸三宮生田ノ杜ノ西

鮎の又半

電話・三の宮 ③③ 0935

赤坂名物

△吉野鍋(若どり野菜入り鍋)

△清盛焼(神戸肉を焼いた野菜をたぶり)

△蔵王鍋(山海の珍味二十五種入鍋)

●お料理お酒一本つけて一、〇〇〇円

其の他魚ちり、魚すき、てっちり、鯛ちり、かにちり、ブタちり、かしわ水だし、牛肉しゃぶしゃぶ、すきやき

御会席料理、一品料理お申しつけ下さい

お料理 一ばん

赤坂

神戸中山手四

TEL ②② 7836、7846